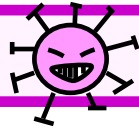


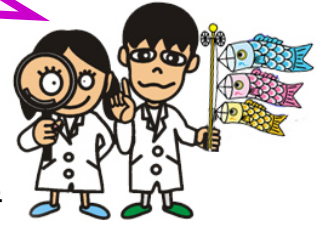
感染症に気をつけよう!

2022年【5月号】

横浜市内の感染症 流行状況



5月6日
発行



感染症*	流行状況		説明【解説付き既刊号等】 ← クリック
新型コロナウイルス感染症*	大流行	やや減少	新規の感染者数はゆるやかに減少傾向ですが、感染の再拡大が心配されています。【'22.4号】
梅毒**	発生	横ばい	報告数の比較的多い状況が、継続しています。 【チラシ 梅毒知ってますか?無料・匿名検査】

国立感染症研究所*

厚生労働省**

横浜市衛生研究所【感染症情報センター】

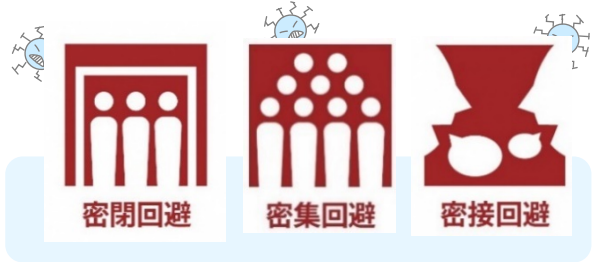
今、気をつけたい感染症



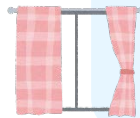
新型コロナウイルス感染症



密閉、密集、密接している場面を避けて、できるだけ「**ゼロ密**」を**
目指しましょう!



密閉空間にしないよう、こまめに換気しましょう!



- ✓ 「部屋が広ければ大丈夫」「狭い部屋は危険」というものではありません。
- ✓ カギは「換気**の程度**」です。
- ✓ 風の流ることができるよう、2方向の窓を1回に数分間程度、**全開**にしましょう。
- ✓ 換気回数は**1時間に2回以上**確保しましょう。

- ✓ 窓がひとつしかない場合でも、**入口のドアを開ければ**、窓とドアの間に空気が流れます。
- ✓ **扇風機や換気扇を併用したり工夫すれば**、換気の効果はさらに上がります。

